

【HySecure】HySecure 5.4からHySecure 7へのマイグレーションについて

2026/09/18 21:12:13

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::02. インストール、アップグレード	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/07/03 - 13:53:00

キーワード

アップグレード方法 バッチ適用方法

症状 (公開)

問題 (公開)

解決 (公開)

【はじめに】
HySecure 7.xは、Oracle Linuxをベースに開発されたバージョンとなります。
これは、CentOSベースで開発されていた HySecure 5.4 とはベースOSが異なるため、
HySecure 5.4 から直接アップグレードすることができず、
新規構築したHySecure 7へのデータマイグレーションを行う必要があります。
移行方式には、ユーザバックアップ方式とシステムバックアップ方式があります。
どちらの方式でのマイグレーションを行うかをご検討ください。
ユーザバックアップ方式 (推奨) ユーザバックアップには、ACLやポリシー設定、HySecure構成情報、登録ユーザやアクセスデバイスなどのユーザ情報が含まれます。新規環境を構築する際に、現行環境とは異なるIPアドレス、ホスト名を使用してセットアップする必要があります。
なお、環境を構築後にIPアドレス、ホスト名の変更はできません。
現行環境を保持したまま、並行して新規環境を構築することが可能であるため、
HySecureの切り替えを行う前に、十分な検証期間を設けることができます。

システムバックアップ方式システムバックアップには、セキュリティオフィサの証明書情報を含むシステム情報は含まれます。新規環境を構築する際に、現行環境と同じIPアドレス、ホスト名でセットアップする必要があります。
そのため、現行環境を停止させる必要があり、ダウンタイムの時間が長くなります。
新規環境の構築期間が短くなることから、十分な検証期間を設けることができません。
また、構築時にトラブルが発生した場合にダウンタイム時間が更に長引く可能性があります。

【注意事項】
データマイグレーションが可能なバージョンについて
データマイグレーションは、基本的には同一バージョンでのみ実施可能となります。
ただし、HySecure 5.4 SP6 と HySecure 7.0 には互換性があるため、データマイグレーションは可能となります。
HySecure 5.4から取得したバックアップは、必ずHySecure 7.0 へマイグレーションし、
HySecure 7.xへアップグレードはマイグレーション完了後に実施してください。

クラスタ構成について
HySecure 7.x のパッチを適用する前に、HAクラスタ構成を設定してください。クラスタが構成されていないと、パッチ適用に失敗する場合があります。
HySecureが1台のみの場合でも、必ずシングルノードHAを構成してください。

HySecure 5.4 SP6 の現行環境への事前パッチの適用
現行環境からバックアップデータを取得する前に、前提パッチを適用しておく必要があります。
このパッチを適用する際に、ダウンタイムが必要となりますのでご注意ください。
AHS_COS_NC_HF05_5.4_SP6_20250207.hpat

ライセンスについて
マイグレーション実施時に、現行環境のライセンスを新規環境へ適用して頂きます。
適用前に、現行環境のライセンスのアクティベーション解除を行う必要がありますので、サポートまでご連絡ください。

【推奨事項】
移行方式としては、ユーザバックアップ方式が推奨となります。HySecure 7の新環境は、最新バージョンへアップグレード後、セキュリティホットフィックスの適用することが推奨となります。
現在の最新バージョン、および、最新のセキュリティホットフィックスは、以下でご確認ください。[1]Accops製品の最新リリースバージョン

HySecure管理コンソールへのアクセスに、HySecureクライアントをご利用の場合は、最新のWorkspaceクライアントへのアップグレードが推奨となります。

【移行手順】
移行手順の詳細は、以下の公式Webヘルプをご参照ください。
[2]Migration Guide

移行手順のサマリーはそれぞれ以下になります。
【ユーザバックアップ方式でのマイグレーションの流れ】 (推奨)
HySecure 7.0 の新規環境を構築する新規VMにHySecure 7.0をインストールする。インストール後のプリブート実行を実施する。
※「Configuration Method」では、「Setup a New Installation」を選択し、新規サーバとして構成を行う。HAクラスタ構成のセットアップを行う。
※データマイグレーションは、HySecure 7.0で行うため、この時点ではパッチ適用は行わない。

HySecure 5.4 の現行環境からバックアップを取得するHySecure 5.4 SP6 が適用済みであることを確認する。

※HySecure 5.4

SP6以下の場合は、事前にSP6までアップグレードしておく必要があります。マイグレーション用のバックアップデータを取得する前に、前提となるパッチを適用する。

※このパッチを適用する際に、ダウンタイムが必要となります。AHS_COS_NC_HF05_5.4_SP6_20250207.hpat

マイグレーション用のユーザバックアップデータを取得する。

注意：HySecure管理コンソールより、バックアップファイルがダウンロードできない事象が確認されております。

以下のFAQにその原因と回避方法をご案内しておりますので、こちらをご参照ください。

[3] 【HySecure 5.4 SP6】マイグレーション用のバックアップファイルがダウンロードできない

HySecure 5.4 の現行環境から取得したバックアップをHySecure 7.0 の新規環境に適用するHySecure

7.0にて、クラスタ構成でのデータ同期が正しく動作していることを確認する。HySecure

7.0の新環境のアクティブノードのHySecure管理コンソールへアクセスする。ユーザバックアップをリストアする。

Settings > General Settings > Backup & Restore > Restore User

Settings/バックアップデータがリストアされていることを確認する。

※アクティブノードにのみリストアすることで、スタンバイノードにも同期されます。

HySecure 7.0から最新バージョンへアップグレードする最新バージョンへのアップグレードを行う。最新のセキュリティホットフィックスを適用する。

注意：HySecure 7.3では、Web Engin V2の問題が確認されております。

以下のFAQにその原因と回避方法をご案内しておりますので、こちらをご参照ください。

[4] 【HySecure 7.3】Web Engine V2の不具合事象と回避方法について

HySecure 5.4 から HySecure 7.xへの切り替え現行環境のライセンスアクティベーション解除をサポートへ依頼する。

※サポート側での対応には一定時間（1-2日程度）がかかりますので、事前にご依頼ください。新規環境へのライセンスを適用する。HySecure 7.x

へ切り替える。

【システムバックアップ方式でのマイグレーションの流れ】

HySecure 5.4 の現行環境からバックアップを取得するHySecure 5.4 SP6

が適用済みであることを確認する。マイグレーション用のバックアップデータを取得する前に、前提となるパッチを適用する。AHS_COS_NC_HF05_5.4_SP6_20250207.hpat

マイグレーション用のシステムバックアップデータを取得する。

注意：HySecure管理コンソールより、バックアップファイルがダウンロードできない事象が確認されております。

以下のFAQにその原因と回避方法をご案内しておりますので、こちらをご参照ください。

[5] 【HySecure 5.4 SP6】マイグレーション用のバックアップファイルがダウンロードできない

現行環境のHySecure 5.4を停止させる。

HySecure 7.0の新規環境を構築する新規VMにHySecure 7.0をインストールする。インストール後のプリブート実行を実施する。

※IPアドレス、ホスト名等は、現行アクティブノードと同一のものを設定する。

※「Configuration Method」にて、「Restore Gateway Configuration from System Backup

file」を選択し、

現行環境より取得したシステムバックアップからのリストアを行う。バックアップデータがリストアされていることを確認する。

※これをアクティブノードとする。

※複数台HA構成をセットアップする場合は、以降の手順にて2台目を作成する。新規VMにHySecure

7.0をインストールする。インストール後のプリブート実行を実施する。

※IPアドレス、ホスト名等は、現行バックアップノードと同一のものを設定する。

※「Configuration Method」では、「Setup a New Installation」を選択し、新規サーバとして構成を行う。

2台目以降は、システムバックアップからのリストアは行わない。新規作成した2台目をアクティブノードのクラスタ構成を参加させる形でHAクラスタ設定を行う。最新バージョンへのアップ

グレードを行う。最新のセキュリティホットフィックスを適用する。

注意：HySecure 7.3では、Web Engin V2の問題が確認されております。

以下のFAQにその原因と回避方法をご案内しておりますので、こちらをご参照ください。

[6] 【HySecure 7.3】Web Engine V2の不具合事象と回避方法について

HySecure 5.4 から HySecure 7.xへの切り替え現行環境のライセンスアクティベーション解除をサポートへ依頼する。

※サポート側での対応には一定時間（1-2日程度）がかかりますので、事前にご依頼ください。新規環境へのライセンスを適用する。HySecure 7.x

へ切り替える。

[1] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=493>

[2] https://propalmsnetwork-my.sharepoint.com/:b:/g/personal/support_accops_com/EZJnlnI7SNdAvaslqm_lyKIBkX58FF8q-1ucnnkeDXz0kQ?e=U7x0MM

[3] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=537>

[4] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=556>

[5] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=537>

[6] <https://sup.azti.jp/otrs/public.pl?Action=PublicFAQZoom;ItemID=556>

Related Product, Service (公開)